



2024年9月15日発行

“聴くことのできる人を育てる” NPO 法人

P.L.A ニュース 第69号

パートナーシップ アンド リスニング アソシエーション <http://pla.keicho.org>



発行者 NPO 法人 P.L.A 事務局：〒101-0046 千代田区神田多町2丁目7番3号 三好ビル 801 号室

[平日：月・水・金(11:00~16:00)] ☎&Fax 03-3255-2882 E-mail : info@pla-keicho.org

第14回傾聴ボランティア交流会ご案内 皆様のご参加をお待ちしています



日時 2024年11月30日(土曜日) 13:00~16:10 (受付開始 12:30)

場所 東京体育館 サブアリーナ 第一会議室

- ・JR 総武線 千駄ヶ谷駅下車 徒歩1分
- ・都営大江戸線 国立競技場駅下車 A4 出口 徒歩1分

参加費 一人 500 円 ※当日受付にてお支払いください

内容 傾聴ボランティア&傾聴ボランティア・グループの交流

テーマ 今後の傾聴ボランティア活動に向けて
～ コロナ禍を経ての活動の変化 ～

世の中は、ほぼ日常を取り戻したように見えますが、コロナ禍を経て傾聴ボランティア活動の変化を実感されていることと思います。

今回の交流会は、変化する社会の中で傾聴ボランティア活動の輪を広げていただける場になりますようにと願いを込めました。2人組のロールプレイングとテーマ別の分科会で、十分にお話できるようにと企画いたしました。この交流会が明日への活力となりますように願っております。

プログラム

1. 開会の挨拶 13:00~13:05
2. オープニング・ロールプレイング 13:05~13:50
----- < 休憩 13:50~14:00 > -----
3. 分科会 14:00~15:30
 - ・第1分科会 いきいきとした活動の継続のために (組織・運営など)
 - ・第2分科会 認知症のある人との関わり
 - ・第3分科会 喪失・悲嘆・希死念慮など、難しい人への対応
4. 全体会 (分科会発表) 15:30~16:00
5. 閉会の挨拶 16:00~16:10





第17回P.L.Aフォローアップ研修の報告

テーマ「対象喪失」

参加者 12名

7月13日(土)13時30分～16時、オリンピック記念青少年総合センターで開催。

対象喪失とは、その人にとってかけがえのないものを失うことです。誰もが経験することですが、自分がその立場になった場合も誰かをサポートする場合もなかなか難しいものです。今回はこの難しいテーマに取り組み、講義(パワーポイント使用)とワークを組み合わせ、理論的、体験的に学びました。「私にとってかけがえのないことって何だろう?」「今まで私は喪失をどんなふうに越えてきたのだろうか?」など自分を見つめながら、喪失の基本的な考え方を学習。「日常会話」と「傾聴を意識した会話」のシナリオを読み合わせ、関わり方の基本姿勢である傾聴の態度をしっかりと復習し、最後に自分の喪失体験を振り返るロールプレイをしました。ロールプレイにはP.L.Aのスタッフも観察者として参加しました。

< 参加者の感想 >

- 講義について:「わかりやすかった」「喪失に対する見方が変化した」「これからの生活に役立つ内容」「対象喪失についての正しい知識は必要。サポートの仕方は特別なものではなく、普段の傾聴の精度を上げていくことだと理解した」など。
 - ロールプレイについて:「喪失体験はまちまちだと思った」「よく聴いてもらい満足」「今まで話せなかったことを話せて感謝」「自然体で話せた」など。一方で、「話すのは苦手。聴く練習の別のやり方はないのだろうか」「相手の方を苦手と感じ苦しかった」という感想も。
- ☆このテーマでの出前フォローアップ研修を受け付けます。(山田記)

オンラインによる傾聴入門講座 好評でした!



これまでに公開講座(2時間×5回)や入門講座(2時間30分×1回)をオンラインで実施してきましたが、今回は去る8月18日(日)13時～15時、傾聴入門講座を開催。

オンラインによる講座は、本来遠隔の地から、あるいは自宅からだったら参加できるというような事情のある方々を対象としています。この度は、開催最小人数を6名と決めて企画しました。当初はそれだけの応募があるのか危惧されましたが、締め切りまでに予想していた条件の方々を含めて6名の応募があり開催決定。その後1名増えて、当日は参加予定7名の方々全員がZOOMの招待に時間通りに入室されたときは、正直ホッとしました。

プログラムは、自己紹介から始まり、講義、シナリオによるロールプレイと進みましたが、どなたも講義の理解力は高く、シナリオの感想も適切な発言をされていました。5分の休憩ののち、具体的なスキルの講義と参加者だけの2人組ロールプレイを実施、これはブレイクアウトルームと全体を行ったり来たりと、かなり煩雑な手順でしたが、さすがにパソコンやスマホの操作に慣れた方々で、思ったよりスムーズに進めることができました。

参加者の感想、ご意見のなかには、「講義は分かりやすかった」「時間はもう少し長くてよかった」「ロールプレイでの聴き役ではこれでよかったのか?」「ロールプレイをやってみて、もっと話を聴きたいし、話をしたいと思った」「講座を受講してとてもよかった」等々。

当方の反省としては、時間は前回同様2時間半。2人組ロールプレイは各グループにスタッフがつき、進行やフィードバック等のファシリテーター役を担うことができるとよいと思いました。

(生木記)